

読書を通して豊かな心を育む

中央図書館 リニューアルオープン

「居心地の良い図書館」「出会いのある図書館」「可能性を開く図書館」をコンセプトに、今まで以上に明るく、より開放的な図書館になりました。



リニューアルオープンした中央図書館



児童フロア

のびのびひろば

中高生にお薦めの本が
紹介されている
読み聞かせにお薦めの本が並んでいる

児童フロア

図書館の入口を入って右側の児童フロアは、子どもたちが安心して本と触れ合える居心地の良い空間です。のびのびひろばでは、靴を脱いでくつろぐことはもちろん、奥のおはなしの部屋では、「えほんのじかん」や「おはなし会」などのイベントも開かれます。また、どのような本を読もうかなと考えている人のために、本を紹介するコーナーが設置されています。季節に合った本や中高生向けの本を紹介するコーナーもあり、思わず手に取ってみたいくなります。

読書通帳

中央図書館と各分館に読書通帳機が設置されました。銀行通帳の記帳のように、図書館で借りた本を記録することができます。

小・中学生は、学校の図書館で借りた本も記録することができます。

自分の読んだ本が貯金されるみたいで、たくさん本を読みたくくなりますね。



記帳された読書通帳



読書通帳に記帳している様子



えほんのじかんの様子



ブックリスト「よむよむ」

本に出会える図書館

「えほんのじかん」や「おはなし会」、年齢に応じたブックリスト「よむよむ」など図書館には、本に出会える機会がたくさん用意されています。

令和2年9月に「浦安市子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定しました。家庭、地域、市立図書館、園、学校等が相互に連携し、子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身に付けられるように子どもたちの読書活動を推進していきます。

司書さんお薦めの本

図書館には、本について教えてくれる司書さんがいます。司書さんにこの秋にお薦めの本を聞いてみました。

● せかい いち おいしいスープ

マーシャ・ブラウン／文・絵 こみやゆう訳 岩波書店

おなかをすかせた3人の兵隊がある村に訪れました。おなかをすかせた兵隊たちは食べ物を求めましたが、村には食べ物はないと言って断られてしまいました。しかたなく3人は大きな鍋を借りて、石でスープを作ることにしました。さて、どんなスープが出来上がるのでしょうか？



司書 鹿島かがりさん

司書 高橋泰代さん



● おばあちゃんをつくったよ！おいしいほしがき

細川剛／写真 宇部京子／文 株式会社ひさかたチャイルド

しふい柿は食べられませんが、おひさまの光を浴びて干し柿になれば、立派な保存食になります。そんな干し柿の作り方をおばあちゃんの手仕事を通して紹介している写真絵本です。最終ページには、干し柿の作り方も載っています。ぜひ、干し柿づくりに挑戦してみませんか？

● 火曜日のごちそうはヒキガエル

ラッセル・E・エリクソン／作 ローレンス・デイ・フィオリ／絵 佐藤涼子／訳 評論社

ヒキガエルの兄弟モートンとウォートンは、仲良く土の中で暮らしていました。そんなある日、ウォートンがおばさんを訪ねるために出かけると、ミミズクにさらわれてしまいました。ミミズクは、火曜日の自分の誕生日に食べようとしていたのです。ごちそうはごちそうでも、まさか自分がごちそうになるうとは…最後にミミズクから逃げ出すことができるのでしょうか？ヒキガエル兄弟が登場するシリーズもおすすめです。



司書 田本みどりさん

学校図書館を活用した授業づくり

授業で学校図書館を活用する効果的な方法について、小・中学校の先生たちが研修を行いました。講師の日の出小学校の学校司書佐藤さんから「先生たちの授業づくりや準備のために学校司書がいる」などの話を聞いた後、学校図書館を活用した授業についてグループごとに話し合いました。

学校司書佐藤さんから話を聞く



学校図書館を活用した授業を考える